

様

年 月 日

アバスタチン＋FOLFIRI (ペバシズマブ とイリノテカンと5-FUとレボホリナート併用) 療法

この治療では次の4種の薬を使用します。

- ペバシズマブ (アバスタチン注) : 血管新生を妨げて効果を現します。
- イリノテカン (トポテシン注) : 細胞のDNAに作用し効果を現します。
- 5-FU : 細胞のDNAやRNAの合成を妨げ効果を現します。
- レボホリナート (アイソボリン注) : 5-FUの効果を強めます。

<投与スケジュール> . . . 2週間 1コース 今回 コース

薬品名 <投与方法・時間>	<薬の作用>	1コース目			2コース目	
		1日目	2日目	15日目	16日目
ゲラセトロン・デキサト・輸液 <点滴30分>	吐き気止め、アレルギー予防		休業			休業
アバスタチン・輸液 <点滴30分>	化学療法剤		休業			休業
トポテシン 生食250mL アイソボリンと同時に <点滴90分>	化学療法剤		休業			休業
アイソボリン 5%ブドウ糖液250ml トポテシンと同時に <点滴2時間>	5-FUの効果増強		休業			休業
5-FU トポテシン・アイソボリン終了時 <急速静注>	化学療法剤		休業			休業
5-FU 希釈液 (ポンプ充填の容量調整のため) <持続注入 46時間>	化学療法剤	持続注入ポンプ 		休業	持続注入ポンプ 	

<薬剤投与日の注意>

- ★ 薬液が血管外へ漏れると皮膚や血管に炎症を起こしたり、壊死することがあります。点滴部位が痛くなったり、腫れたりしたした場合や点滴が落ちなくなった場合はすぐに申し出てください。
- ★ 薬剤の投与は、血液検査やその他必要な検査を行いながら進めていきます。副作用の発現・合併症の有無によって治療の途中でも、薬剤の減量・変更や中止されることがあります。

<備考>